



おむつのサブスク

料金＝月額2,400円（税込）

オプションサービス

内容＝紙エプロン・手口拭きが使い放題
料金＝月額870円（税込）

※申し込み方法は、保育園から保護者にご案内します

▶対象施設はこちら



忙しいパパママにうれしい！

こんな準備が全て不要に！

毎日の
おむつへの記名



保育施設へのおむつの持参



保育施設でおむつの残り枚数の確認



保育施設用おむつの購入



13の 公立保育園で

「おむつのサブスク」スタート 持参なしで 登園準備をスムーズに

市は、子育て環境のさらなる充実に向け、市内13の公立保育園でおむつとお尻拭きを使い放題になる「おむつのサブスクリプション（定額制）サービス」を開始しました。家庭からおむつやお尻拭きを持参する必要がなくなり、毎日のおむつの記名も不要に。

保護者の登園準備の手間が減るとともに、園でも子ども一人ひとりのおむつを管理する負担が軽くなり、子どもたちと向き合う時間のさらなる確保につながります。今後は、効果を検証しながら導入施設の拡大を検討します。
園保育課 ☎ 39・2219



▲中田宏内閣府副大臣（左から4番目）に要望書を提出する磯田市長（左から3番目）ら

柏崎刈羽原発の安全対策 強化と徹底を国に強く要求

原子力安全対策室 ☎ 39・2305

磯田市長をはじめとするUPZ※圏内の自治体首長らは10月10日、原子力規制庁や内閣府、財務省、経済産業省を訪れ、柏崎刈羽原発の安全対策の徹底などを求める要望書を提出しました。

要望書を受け取った内閣府の中田宏副大臣は「いただいた要望はしっかりと受け止める。今後も政府一丸となり取り組んでいきたい」と発言。磯田市長は「冬期間を含めた避難体制の確保や実効性のある対策をきちんと取ってほしい」と改めて強く要望しました。今後も住民の安全・安心のために関係機関と連携し、原子力安全対策にしっかりと取り組めます。

※UPZ：原子力発電所からの距離が半径おおむね5キロ～30キロの区域。柏崎刈羽原発では、長岡市（栃尾地域を除く）、柏崎・上越・十日町・燕市の一部、小千谷市、見附市、出雲崎町が含まれる。

要望内容など
詳細は市ホームページで



“デコ活コンクール”受賞作品が決定 脱炭素社会への思い 4コマ漫画に

環境政策課 ☎ 24・0528

カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量の実質ゼロ）の実現に向けて生まれた新しい言葉「デコ活」。「省エネ家電を使う」「ごみを減らす」など、私たちが暮らしの中でできる「脱炭素につながる取り組み」の総称です。市はその言葉を多くの人に知ってもらい、環境保全活動の輪を広げようと、市内の小・中学生を対象にデコ活がテーマの4コマ漫画コンクールを初開催。応募総数292点から受賞作品が決まりました。作品はトキと自然の学習館や市ホームページで紹介。子どもたちの創意工夫に触れ、この機会にデコ活を始めませんか。

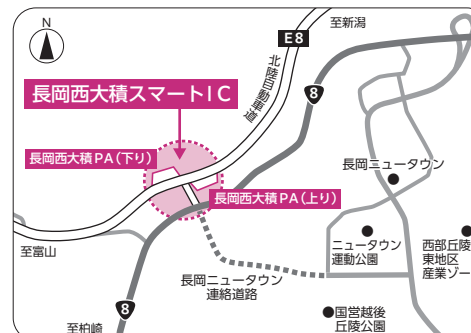
令和6年度 ごみと資源物の処理経費は 35億2,700万円でした

これは市民1人当たり年間約13,895円です。なお、みなさんから負担いただいている指定ごみ袋などの売り上げ収入は約3億4,200万円。この収入はごみの減量やリサイクル経費などに充てています。リサイクルには多大な経費が掛かることをご理解ください。

全受賞作品は
こちらから



▲関原中1年・外川和花さんの作品（中学校1～3年生部門金賞）



西部地域の新たな玄関口

名称が決定！ 長岡西大積スマートIC

西部地域の産業基盤の強化や観光振興、渋滞緩和などを目的に整備するETC専用のスマートインターチェンジの名称が「長岡西大積」に決定しました。市内では「長岡南越路」「長岡北」に続く3カ所目の設置。開通に合わせて大積PAの名称も「長岡西大積」に変更します。盛土などの本格工事は令和5年に着手。完成を目指して現在も行っています。また、産業団地へのアクセス向上や観光客の周遊性を高めるため、国営越後丘陵公園方向への接続道路の整備も併せて進めています。

国土政策調整課 ☎ 39・2307